

農林水産商工常任委員会資料

(令和7年12月18日)

項目	ページ
■ 米の価格動向について 【生産振興課、食パラダイス推進課】	2
■ 県内で発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫対応の状況について 【家畜防疫課】	3
■ 「食パラダイス鳥取県」の推進に向けた取組について 【食パラダイス推進課】	4
■ 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【農地・水保全課】	6

農林水産部

米の価格動向について

令和7年12月18日
生産振興課
食パラダイス推進課

全国及び県内の米の価格動向について報告します。

1 全国の米の販売価格動向

○12月12日に公表された全国的な米の小売価格（KSP-SP 提供 POS データ）は、12月1日の週の平均価格は4,321円／5kg（税込）（対前週▲14円）と低下。

- ・平均価格は、新米の出回りなどを背景に上昇し、9月以降は4,000円／5kg（税込）を上回る価格で推移。
- ・ブレンド米等の平均販売価格は前週比+99円の3,969円／5kg（税込）
- ・銘柄米の平均販売価格は前週比▲82円の4,469円／5kg（税込）



2 県内小売店への調査（聞き取り）概要

(1) 県内の状況 (R7.12.15、16 県内小売店10店舗への調査結果)

※事業者数ではなく店舗数で記載

○県内の小売店において在庫は充分に確保されている。

○現時点で定点品目である県産コシヒカリ新米を取扱っているのは9店舗(1店舗は元々、県産米の取扱なし)。販売価格は5kg 4,500～5,378円(前回と変わらず)。

○殆どの店舗においてR6年産は終売し、新米に切り替わっている状況。

○ただし、新米の売れ行きが芳しくなく、精米時期から1か月程度経過した新米を割引販売(店舗により1～3割引)したり、特価商品として販売するなど、滞留在庫が生じないよう対策を講じている。

○今後の価格動向については、4店舗が「変わらない」、4店舗が「下がる」、2店舗が「不明」と答えた(前回、5店舗が「変わらない」、2店舗が「下がる」、1店舗が「下がる」又は「変わらない」、2店舗が「不明」と回答)。

(2) 調査対象店舗

県内のスーパーマーケット、ドラッグストア等 (10店舗)

- [東部] 2店舗
- [中部] 1店舗
- [西部] 2店舗
- [広域展開] 5店舗

(3) 調査方法及び項目

購入制限、在庫状況、入荷状況、価格動向(見込み)、店頭価格 等

県内で発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫対応の状況について

令和7年12月18日
家畜防護課

12月2日(火)に米子市内で発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫対応の状況について、その概要を報告します。

1 発生事例の概要

- (1) 発生場所 米子市
- (2) 飼養羽数 肉用鶏 74,809羽
- (3) 検査経過

- ・12月1日(月)午前9時30分に農場の立ち入り検査を行ったところ、同日午前10時40分、簡易検査により12羽中10羽で陽性を確認した。
- ・12月2日(火)午前6時頃に遺伝子検査でH5亜型遺伝子を検出し、午前8時に農林水産省により高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜と決定され、殺処分を開始した。

2 本県の対応状況

- (1) 対応経過

月 日	対 応
12/1 (月)	午前10時50分、鳥取県高病原性鳥インフルエンザ防疫対策本部設置
	午後3時10分、第1回高病原性鳥インフルエンザ防疫対策本部会議開催
12/2 (火)	午前8時、殺処分等の防疫措置を開始、消毒ポイント4か所設置
12/4 (木)	午前1時27分、殺処分終了 家畜伝染病予防法第30条に基づく消毒命令により県内79養鶏場の緊急消毒実施
12/6 (土)	正午、処分鶏・汚染物品の埋却処分・農場消毒等が終了し、防疫措置完了

- (2) 防疫作業従事者数(12月1日～12月6日防疫措置完了まで 延べ人数1,764名)

県職員：1,095名(一般職員：928名、家畜防疫員等：167名)、米子市：153名、JAグループ：15名、鳥取県農業共済組合：7名、(一社)建設業協会：88名、(一社)警備業協会：78名、民間派遣会社328名)

- (3) 今後の最短スケジュール

12/13(土)農場消毒実施(2回目)、12/17(水)清浄性確認検査(3km以内)、
搬出制限区域解除検査(3～10km)⇒陰性の場合、搬出制限区域を解除(同日の解除)、
12/20(土)農場消毒実施(3回目)(2回目の消毒から7日後)、12/28(日)午前0時
防疫措置完了後21日経過したため移動制限区域解除し、消毒ポイント運営終了

3 今後の対応

- (1) 発生農場

- ・処分鶏等手当金(国庫)の申請、経営再開に向けた支援を行う。
- ・発生農場の消毒を実施。飼養衛生管理基準の遵守状況を確認。
- ・発生農場の鶏の再導入に向け、鳥取大学の協力による鶏舎への野生動物の侵入対策や各鶏舎へのモニター鶏導入によるウイルス陰性確認を実施する。
- ・埋却地の状況の定時的確認。
- ・埋却地周辺河川、水源の定時的検査を実施。

- (2) 県内農場

- ・78養鶏農場の鶏舎の防鳥ネット、壁の穴等の再点検、手袋の交換の徹底、消毒設備の点検、農場内の樹木伐採、貯水槽へのネット設置を重点に点検を実施する。

- (3) 発生時の備え

- ・発生時の防疫に使用する備蓄資材(防護服、密閉容器)等の緊急再整備を行う。
- ・野鳥の監視と糞便、環境水調査を継続する。

4 今シーズンの全国における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(12月16日現在)

5道県で7事例が発生し、約197万羽を処分

※ 高病原性鳥インフルエンザの過去最多の発生事例数及び処分羽数

令和4年度シーズン(10月～5月)26道県で84事例が発生し、約1,771万羽を処分

「食パラダイス鳥取県」の推進に向けた取組について

令和7年12月18日
食パラダイス推進課

11月から12月にかけて、食パラダイス鳥取県の推進に係るPRイベント等を下記のとおり行いましたので、その概要を報告します。

1 「食パラダイス鳥取県」特產品コンクール

県産農林水産物を主原料とした加工食品又は県産農林水産物の特徴を活かした加工食品のレベルアップと販路開拓等の促進を目的とし、今年で18回目となるコンクールを開催し、受賞商品を決定した。

また、総合グランプリ及び各部門の最優秀賞の受賞者を対象に、表彰式を行った。

- (1) 表彰式：11月19日（水）
- (2) 応募商品：39商品（39事業者）
- (3) 審査委員の書類審査後、試食審査会・合議を経て選考。



5部門（総菜部門、食材部門、菓子・パン部門、飲料部門、酒類部門）を設置し、各部門から最優秀賞、優秀賞、優良賞を選出した。さらに各部門の最優秀賞商品の中から総合グランプリを決定した。

- (4) 審査結果：総合グランプリ・飲料部門 最優秀賞：有限会社サンパック「贅沢王秋梨ジュース180ml」
 - 総菜部門 最優秀賞：中浦食品株式会社「山陰 中浦かにめし」
 - 食材部門 最優秀賞：株式会社Buzz Bee「生はちみつ食べくらべセット」
 - 菓子・パン部門 最優秀賞：大山乳業農業協同組合「白バラ牛乳生ロールケーキ」
 - 酒類部門 最優秀賞：株式会社稻田本店「週末のリキュールOIMO」
- (5) 今後のPR：
 - ①BSSラジオ・FM鳥取・日本海新聞・とりネット・特設サイト・県政テレビで紹介
 - ②特設コーナーでの展示販売
 - （東部：鳥取空港、中部：道の駅ほうじょう、西部：ふれあい村 アスパル）
 - ③受賞ロゴマークの活用（商品パッケージやPOP等にマークを入れて宣伝）

2 首都圏等とつとりジビエレストランフェア2025

「ミシュランガイド東京2025」星付レストランなど10店舗でとつとりジビエメニューを楽しむレストランフェアを開催した。

大阪・関西万博でのジビエ出展（農林水産省ブース）を機に、関西圏におけるとつとりジビエの認知度向上に向けた取組を進めるべく、今年度初めて大阪のレストラン2店舗でも実施し、首都圏と合わせ計10店舗でフェアを開催した。

- (1) 実施時期：11月17日（月）～30日（日）
- (2) 実施場所：東京都内レストラン8店舗及び大阪府内レストラン2店舗
- (3) 来場者の感想：鳥取県産のシカを初めて食べたが、臭みがなく美味しかった。
- (4) シェフの感想：今回のフェアを通じて、とつとりジビエを知ることができ、鳥取県とも縁ができた。今後、鳥取県産食材を使う素地が広がつた。
- (5) 広報：フェアの一環として10月29日・30日に、フェア参加店舗のLa paix(ラペ)松本シェフとlumière(リュミエール)唐渡シェフに鳥取県を訪問いただき、鳥獣被害防止対策に取り組む集落や解体施設等を視察するとともに、鳥取いなばのジビエ推進協議会と県が共催した「とつとりジビエレストラ



ンフェス」に御参加いただいた。その内容を令和8年1月6日発売の料理専門雑誌である「料理王国(2月号)」の誌面とHP特設サイトに掲載する予定である。

3 ウエルカニキャンペーンと連動した「かにグルメ冊子」作成

当県が蟹取県として実施している観光誘客キャンペーン「ウェルカニキャンペー（10月14日～令和8年3月19日）」と連動し、県内でかにが楽しめる飲食店をまとめた冊子を作成した。冊子は宿泊施設や空港などの観光情報発信拠点へ配布し、主に観光客に対して蟹取県をPRする。

- (1) 配布時期：12月上旬
- (2) 配布場所：道の駅、観光案内所、空港、レンタカー店など61か所
その他、ビジネスホテル等の宿泊施設にて配布予定
- (3) 掲載店舗：52店舗（東部：25店舗、中部：12店舗、西部：15店舗）
<掲載条件>
 - ・県の広報に御協力いただける店舗であること。
 - ・食パラダイス鳥取県特設サイト「とりたべ」の取材が可能であること。
 - ・「食パラダイス鳥取県アンバサダー」登録されていること。



4 ANAと連携した「星空舞」PR

- (1) ANA国際線ファーストクラス機内食への「星空舞」採用

12月から令和8年2月までの3か月間、ANA国際線ファーストクラス日本発欧米路線（一部路線除く）の機内食で「星空舞」が提供される。国際線への採用米は年に4銘柄のみで、国内外に向け「星空舞」をPRする好機と捉え、積極的に情報発信を行う。

- ① 採用期間：12月1日（月）～令和8年2月28日（土）
- ② 採用路線：羽田 - ニューヨーク（2便）、シカゴ、
サンフランシスコ、ロンドン
成田 - サンフランシスコ、シカゴ
※B777-300ER機材が対象
- ③ その他：和食を選択した方への提供となる。
メニューは、「富山 海老亭別館」の監修。



- (2) ANA FESTAでの「星空舞」を使用したおにぎり等の販売

例年実施している「星空舞」を使用したおにぎり等の販売を、今年度は（1）の時期と合わせて実施している。店内を「星空舞」仕様に装飾し、「星空舞」及び「食パラダイス鳥取県」のPRを行う。

- ① 販売期間：12月2日（火）～21日（日）
※販売数量により終期の変更可能性あり
- ② 販売場所：羽田空港第2ターミナル
ANA FESTA羽田 60番ゲートフード店
- ③ 販売内容：おにぎり、ごはん単品
- ④ 店舗担当者の声：
非常に美味しいお米。水加減の調整がしやすく扱いやすい。



5 今後の対応

インバウンドの順調な回復や国際定期便の増便などの機会を捉え、関係団体等と連携を図りながら食パラダイス鳥取県の魅力を発信し、国内外での誘客につなげる。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和7年12月18日
農地・水保全課

【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
農地・水保全課 (中部総合事務所農林局)	松谷第3ため池改修工事 (その3)	東伯郡 琴浦町 松谷	株式会社共栄組 代表取締役社長 山崎 浩貴	(当初契約額) 186,010,000円 (変更後契約額) 209,968,000円 〔(変更額) 23,958,000円〕	令和7年4月11日 ～ 令和8年3月12日	(当初契約年月日) 令和7年2月14日 (変更契約年月日) 令和7年12月5日	・土取場への進入路に管水路が埋設されていることが判明し、大型車両の通行に伴う破損を防止するため、敷鉄板を追加したことによる工事費の増額。 ・ICT活用工事の必要経費の追加による工事費の増額。